

## コラム①

## 表紙の植物：ミヤマオダマキ

梅沢俊著、北海道の草花（2018）でミヤマオダマキの生育環境は「高山のれき地や草地」となっており、花期は6月～8月とある。高山が苦手な筆者も各地で見ているようなので分布を整理してみた。

分布図の●印は筆者確認済み産地、○印は文献などから拾い出した産地である。高山型ではあるが各地で庭などに植えられ逃げ出しているものを見かけるので、これらは淡黒丸印で示した。札幌市内、函館市、苫小牧市、新ひだか町、天売島、稚内市などの各地で逃げだしを見ている。

本会のかなり昔の浜頓別町斜内山道での観察会で白花を見た記憶があり、2018年秋に久しぶりに訪れたが葉を確認しただけであった。2018年の確認はオロフレ山の駐車場で、ここでは風に吹かれなが

ら可憐な花を咲かせていた。

筆者は高山があまり得意なエリアではないので表紙の植物の選定に際して鮫島先生の画集からコケモモ、シラタマノキなども検討してみた。コケモモの生育環境は同書で「亜高山～高山の岩れき地やハイマツ林下」に加えて高山以外の、「林縁、道北・道東部の湿原や海岸」とある。シラタマノキの生育環境は「亜高山～高山のれき地」に限られるため、シラタマノキの確認地点はコケモモの半分程度だった。ミヤマオダマキはその中間といった確認地点数であったが、全道的に確認地点があり、馴染み深いのでミヤマオダマキに落ちついた。

（五十嵐 博）

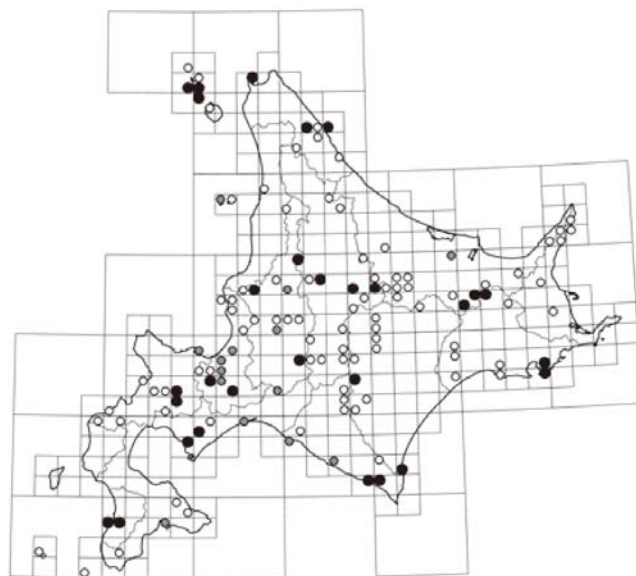


図1 ミヤマオダマキ（キンポウゲ科）の北海道分布 2018